

STだより③ ことばの育ちが気になる保護者の方へ

今回のテーマ：『ことば』

- ことばを育むために大切なこと
- ご家庭でできる関りについて

ご紹介していきます



ホームページで【ことば】に関して
複数回に分けてお伝えしていきます

●ことばを育むために大切なこと●

ことばを獲得しやりとりを行うためには

- 聞こえに問題がなく、しっかり音を聞くことが出来ていること
- 大人からの簡単な言葉かけが分かっていること
- 指差しをして同じものへ注意が向くこと
- 他者に興味があること
- お口をしっかり動かしていること



●ことばを育むために大切なこと●

ことばを育むためには

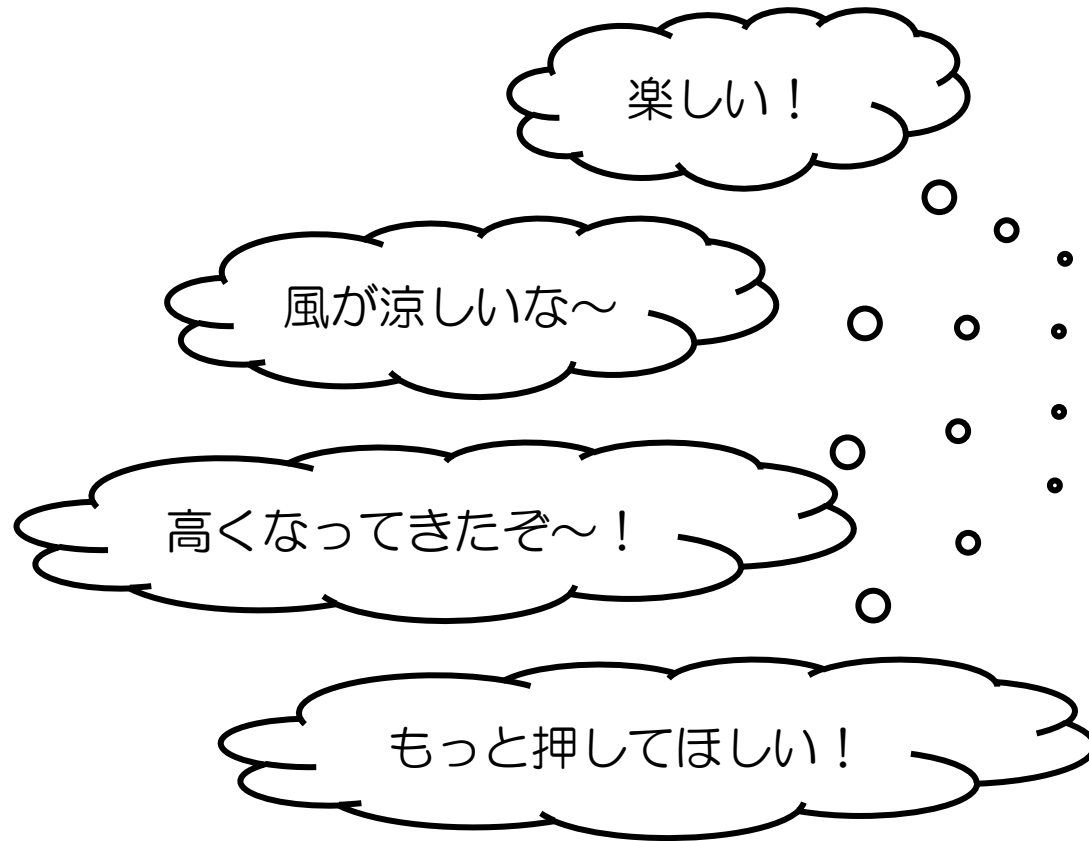
- 規則正しい生活
- 体を十分に動かすことや手先の活動など
様々な経験、体験して体感すること
- 安定した親子関係
- 聞く力を育てること

これらの土台となる部分が育つことで
ことばも育まれます



●ことばを育むために大切なこと●

例えば・・・



実体験を通していろいろな気持ちを感じる経験がことばの土台になります

●よくある相談●

- 「あ！」や「ん！」で伝えようとする
- ことばがゆっくり（言葉の数が少ない）
- ことばが出にくい など

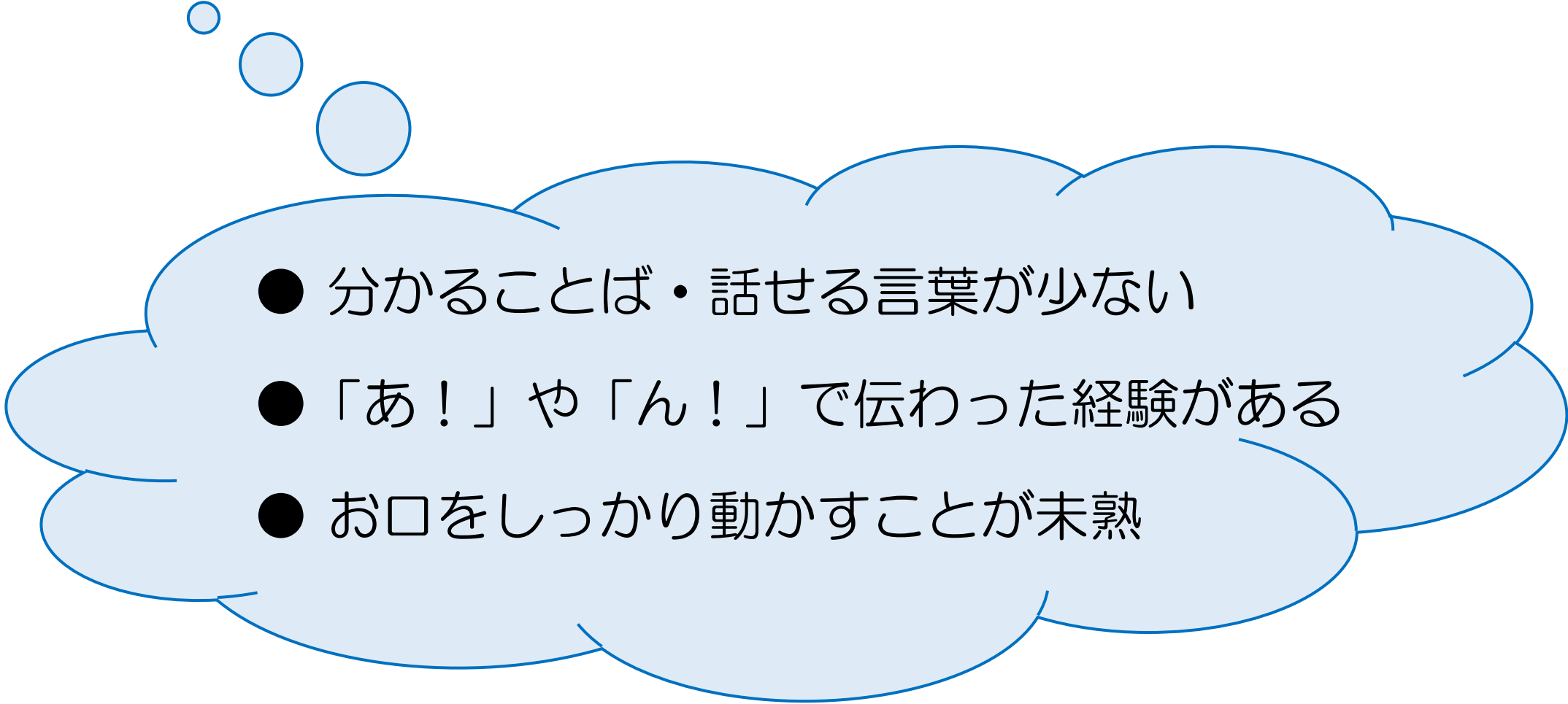
今回は

- ◆ 相談内容の背景として考えられること
- ◆ 家庭でできること

について紹介します

例) 「あ！」や「ん！」で伝えようとする

〈ことばの一部のみで伝えようとする背景に考えられること〉

- 
- 分かることば・話せる言葉が少ない
 - 「あ！」や「ん！」で伝わった経験がある
 - お口をしっかりと動かすことが未熟

例) ことばがゆっくり ことばが出にくい

〈ゆっくり・出にくいことについて 背景に考えられること〉

- 耳の聞こえに問題がある
- わかることば・話せる言葉が少ない
- 他の人への興味が少ない
- ことばを話すタイミングが少ない
- お口をしっかりと動かすことが未熟

など

●ご家庭でできること●

● わかることば・話せる言葉が少ない

→大人が子どもにとって分かりやすい幼児語やオノマトペ・実物・身振り・ジェスチャーを使いながらことばかけをしたり、真似っこ遊びを行う

例)



オノマトペとは？

さまざまな状態や動きを
音で表したものの

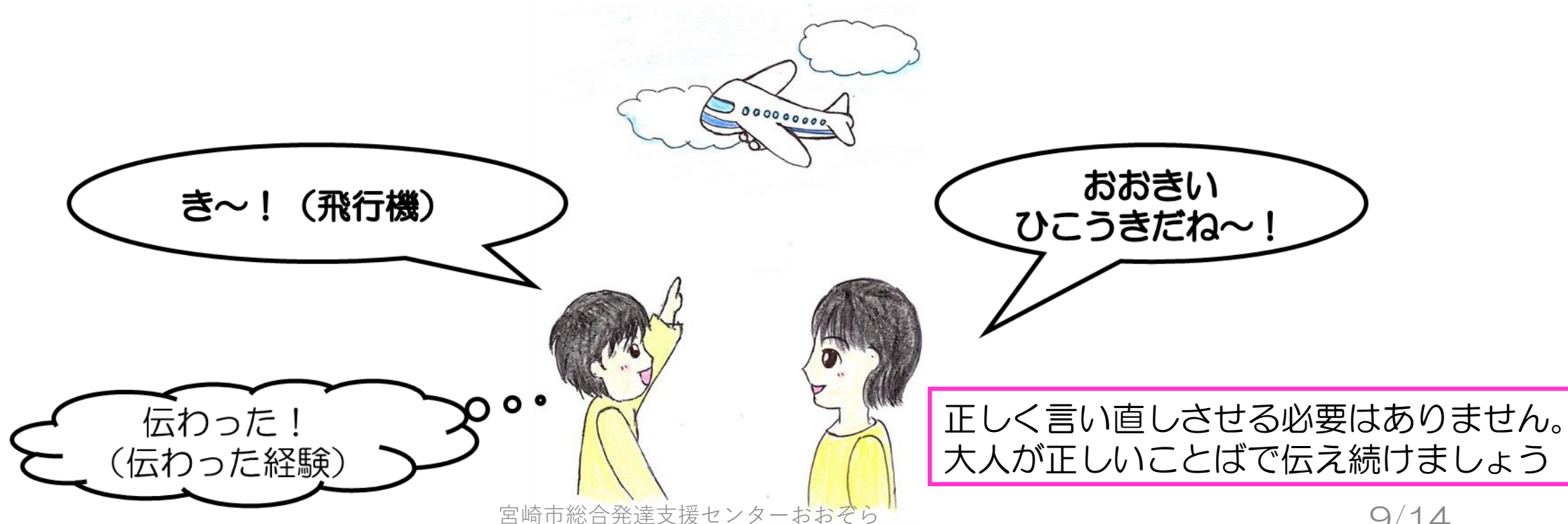
例えば・・・

もぐもぐ、パクパク、ごしごし
ワンワン、ニャーニャー
ザーザー、ビュービュー など

●ご家庭でできること●

- わかることば・話せる言葉が少ない 他の人への興味が少ない
→まずは本人の興味・関心のある物を知ることが大切
同じものを見て(共同注視)ことばかけを行いましょう

例)



●ご家庭でできること●

● 他の人への興味が少ない

→大人と一緒に身体を使って遊ぶ。大人が子どもの遊びの真似をする。
子どもの「もう1回！」「楽しかった」を引き出していく

例)



たかいたかい



おえかき



くすぐり遊び



おうまさん

●ご家庭でできること●

● お口をしっかり動かすことが未熟

→生活の中でよく噛む、息を吹く・ベロをだす遊び（にらめっこ）
を通して、口を動かすことを意識しましょう。参考：STだより①②



かむ



かじる



ふく



なめる



にらめっこ

●ご家庭でできること●

● 聞こえについて

→中耳炎や進行性の難聴などが隠れている場合もあります

→小児科や耳鼻科の先生に積極的に相談しましょう

● ことばの育ちで気になることがあれば、園の先生や地域の保健師、健診の時などに相談してみてください



●まとめ●

ことばを育むために大切なこと

規則正しい生活や体を十分に動かすこと、安定した親子関係、豊かな経験や体験、聞く力を育てること 等



ことばが話せるようになるために必要なこと

『分かることば』が増え、『伝えたい気持ち』が育つこと



『わかることば』『伝えたい気持ち』を育むためには・・・

- 子どもと同じものを見る経験（共同注視）
 - 身振りやジェスチャーを用いたやりとり
 - 自分の経験が理解される経験（伝わった経験）
- が大切になります

参考・引用文献

- 1) 中川信子「ことばの遅れのすべてがわかる本」講談社
- 2) 寺田奈々「ことばをひきだす親子あそび」小学館
- 3) 寺田奈々「ことばを引き出す遊び53」誠文堂新光者
- 4) PriPri パレット 世界文化社

※イラストの無断転載はお控え下さい